

## 事前評価チェックシート

計画の名称：東通村の下水道における防災・安全対策の実現

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性	○
I. 目標の妥当性	
・下水道事業計画の基づく施設整備は既成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしている。	
I. 目標の妥当性	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
I. 目標の妥当性	
・効率的な管理・運営と地域住民の生命・財産の保護、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を目的とした、処理場・ポンプ場における機械・電気設備長寿命化計画及びストックマネジメントを立てている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	
・整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
・定量的指標は処理場における機械・電気設備の長寿命化対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
・事業内容は下水道整備に係る事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
II. 計画の効果・効率性	
・事業実施により、衛生面等居住環境の改善及び公共水域の水質改善が見込まれ、かつ地域全体の自然環境・生活環境の改善が期待できる。	

Ⅲ. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
・地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
Ⅲ. 計画の実現可能性	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
Ⅲ. 計画の実現可能性	
・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、村全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すことと している。	